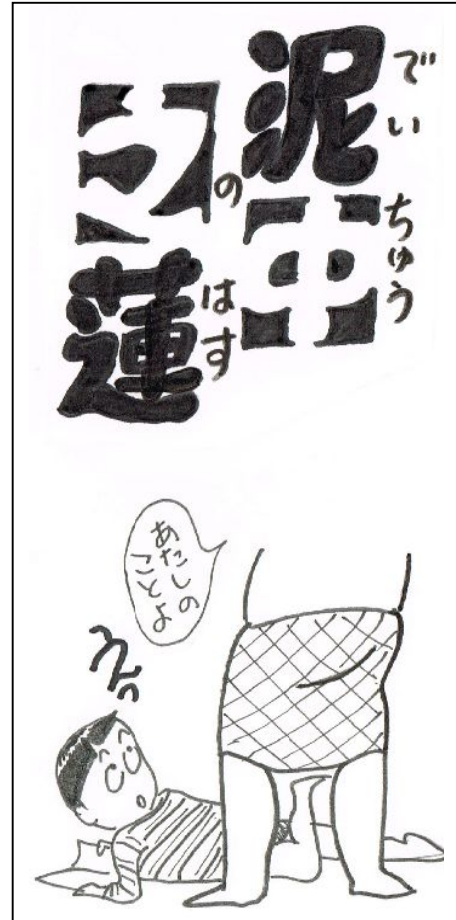


「あたしのことよ」  
「えっ」  
「泥中の蓮っていうのは！」  
「なぜ」  
「なぜって、泥中の蓮だからよ」  
「どの辺が」  
「全体がよ」  
「泥中の蓮ってゆうのは泥沼に咲く清楚な花のことだよ」  
「だからあたしのことよ。別名『掃き溜めに鶴』」  
「モロちがうんじゃないの」  
「どの辺が」  
「誤解しているといけないから説明しますよ、蓮の花は泥の中でも美しい花を咲かせているという意味から、世の中の汚濁の中にあっても、染まらずに清ら

# 先週の回答

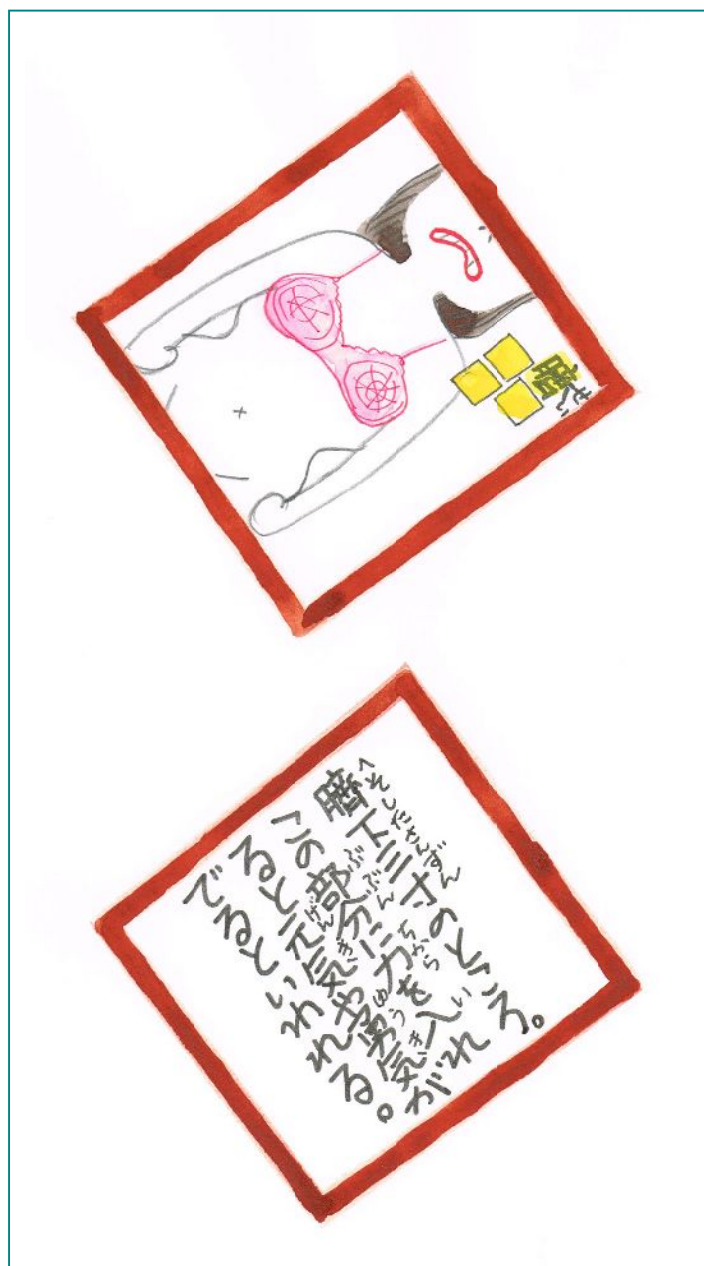


かな美しさを保っている女(ひと)のことだよ」  
「だから、それよ」  
「さらに誤解していると困るから言いますけど、掃き溜めに鶴は、同じように環境のよくない所、周囲からうすぎたない所に不釣り合いなほど美しいものが現れる『鶴が掃き溜めに下りたよう』ということだよ」  
「だから、それよ」  
「くどいようだけど、まわりの環境に影響されなくて、清らかさを失わないものこと。ママはすぐに影響されて自分を見失うじゃないか。第一、蓮とか鶴は美人ということばに置きかえて使われているんだよ」  
「くどいようだけど、だからそれよ」  
「ママの場合は、泥中のドクダミ、掃き

溜めにガマガエルとまでは言わないけど、ややその線に近いんじゃないの」  
「おだまり！」  
「たしかに掃除はしない、食器は汚れたまま流しに積み上げてる台所に平気で立つママは掃き溜めにツル。名前がツル子だから。さらに酔っ払って帰ってきて風呂に入る泥酔のバスではあるね」  
「さらに、おだまり！」



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。